



初期充填燃料

初期充填燃料

今日、車両は最初のオーナーのもとに届くまでに、世界各地に輸送されていることが多く、またその手元に届く何か月も前に燃料を充填されています。

燃料を満たした製造工場とは異なる大陸の異なる気候のオーナーが車両を手にすることも多いです。消費者が車両を手にするとき、すなわち初めてエンジンをスタートするとき、何も問題なく作動し、正しい印象を与えることが大切です。

当社の特別な初期充填燃料のポートフォリオには、寒冷地で使用可能なものや、特別な季節に応じたもの、スパークプラグの汚れに耐性のあるガソリン、長期保存燃料と特定の輸出地域に適した燃料などがあります。

ガソリン	ディーゼル
スパークプラグ汚損耐性ガソリン (ASF)	北極圏用
エタノールフリー	バイオディーゼルフリー

当社自身の製品の開発供給に加えて、下記の関連サービスも提供しています。

英国のハリッジ及びフランスのブルテルールド、ドイツのハンブルク-ヴィルヘルムスブルクにある当社の製油所と燃料ブレンディング施設には、80以上の特殊燃料ブレンディングラインと600リッターから880,000リッターまでの貯蔵タンク、そして自動化された専用のドラミングラインがあります。

それぞれのブレンディングラインは、独立したポンプとメインライン及びジェットラインを備えて最終製品の完成度を高めています。

高度に洗練されたレーダーシステムでタンク内の液量を計測することにより、極めて正確なブレンディングが行われています。

更に、当社では製品の完全性を保つために、2ミクロンのフィルターと親水性カートリッジを通して、微粒子と水の残りを除去してからパッキングと積みを行っています。

すべての拠点でISO 9001とISO 14001を取得しています。すなわち、認証された品質マネジメントを通じて皆様の製品が製造されています。製品の流通サービスをご利用いただきたいときには、パッキングされ積み込まれた製品向けに、ハルターマン・カーレスのサプライチェイン専門のチームの手配により世界各地で第三者の危険物倉庫の利用が可能です。

ハリッジとハンブルクにある品質管理及び開発ラボでは、幅広いメソッドの化学分析試験が可能です。密度に始まり、引火点、アニリン点、低温流動性(流動点、CFPPなど)、蒸留性状、蒸気圧を測定する自動化装置があります。加えて、ASTM及びIP手法をカバーするマニュアルの機器も多く持ちあわせています。

分析ラボは、ガスクロマトグラフィー(GC/FID、ヘッドスペース、GC/MS、加熱脱着、リフュームライザ、PIONA)及び液体クロマトグラフィー(HPLC)、元素分析(原子吸光、蛍光X線、原子蛍光)、分光器(FTIR、可視・紫外分光法)などの広範なケイバビリティとテクニックを備えています。また、ハリッジテクニカルセンター内には最大20リットルを処理可能な蒸留パイロットプラント装置があります。

日本における連絡先

ハルターマン・カーレス・ジャパン合同会社

Hisakazu Akiyama 秋山 久和

事業開発・代表職務執行者

神奈川県横浜市

hakiyama@h-c-s-group.com

電話 +81 (80) 3344 8802